

葛飾の 協働が

アツ!



2023年版 葛飾区協働事例集

2023年版 葛飾区協働事例集

発行日：令和5年3月

発行：葛飾区

〒124-8555 東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代表)

<http://www.city.katsushika.lg.jp>

編集：葛飾区政策経営部政策企画課

電話 03-5654-8177 (直通)

取材・編集・デザイン：株式会社 Jリポート



葛飾区は持続可能な開発目標(SDGs)を
支援しています。

この冊子は、印刷用の紙へリサイクルできます。

清掃活動、20年超！ 自分たちのまちを、自分たちの手で美しく！	新小岩第六自治会	P.23
若い隊員が加入！ 活動も制服も“魅力的な消火隊”を目指そう！	新小岩第二町会 市民消火隊	P.25
7年続く 商店街の“メロン育て隊”収穫祭 ユニークなイベントで地元を元気に！	堀切ラッキー通り 商店街	P.27
食品ロス削減 まだ食べられる食品が大量に 集まる！ フードドライブ常設型ボックス	生活協同組合 コープみらい コープ葛飾白鳥店	P.29
自治体と業界団体が全国初タッグ 使用済みペットボトルを再びペットボトルへ！	一般社団法人 全国清涼飲料連合会	P.31
地元のミュージシャン大集合！ コロナ禍で 音楽祭をオンライン生配信	立石ぴいこ音楽祭 実行委員会	P.33
野球の楽しさを伝え75年 子どもから高齢者まで“野球人”を育てる	葛飾区軟式野球連盟	P.35

協働推進担当からのお知らせ

● 「葛飾らしい協働」の輪を広げていくために……………	P.37
● 葛飾区職員出前講座……………	P.39
● 葛飾区における協働事例をYouTubeやDVDでご覧いただけます……………	P.40
● 葛飾協働まちづくり表彰……………	P.41
● 協働のまち葛飾 下町川柳コンクール……………	P.43
● 葛飾みんなの協働サイト……………	P.44
採用2年目職員の「協働研修」をご紹介します！……………	P.45
ボランティア・地域貢献活動センター……………	P.47

葛飾らしい協働……………	P.1	
区長あいさつ……………	P.2	
語りの魅力に、子どもたちが夢中！ 毎月「おはなし会」を2グループで運営	柴又語りの会 柴又おはなしころりん	P.3
親子で集える“こすげのわ” 子育ての悩み相談や仲間づくりの場	こすげのわ	P.5
みる・あそぶ・つながる お互いを認め合える場づくり	NPO法人 かつしか子ども劇場	P.7
地域の親密な見守り役 コロナ禍でも相談・支援を絶やさない！	葛飾区民生委員 児童委員協議会	P.9
孤立を防ぐ！顔が見える関係づくり 簡単ヨガやラジオ体操で、高齢者の見守り・支援	東金町地区小地域 福祉活動推進委員会	P.11
毎週土曜日やってるヨ！楽しさ満載サロン！ ゲームと体操で健康年齢の維持	葛西神社ラジオ体操 はつらつ会	P.13
椅子を使った体操で 高齢者たちの介護予防に！	コスモス 秋桜クラブ	P.15
葛飾の土地の境界ならお任せ 地元の土地家屋調査士が区民相談	東京土地家屋調査士会 葛飾支部	P.17
損得抜き不動産アドバイス！ 相談に誠実に応え、40年超	公益社団法人 東京都宅地建物取引業 協会 葛飾区支部	P.19
開かずの踏切を解消したい！ 活動20年 鉄道立体交差化へ一歩前進	高砂地区開発協議会	P.21

葛飾区協働事例集の発行にあたって



葛飾区は、人情にあふれ、地域内での人と人とのきずなが強い土地柄です。そのため、かねてよりさまざまな人や団体、工業、商業、農業をはじめとする区内産業に携わる方々などにより、地域を良くしようとする活動が連携して行われてきました。

このきずなによる活動は、現在に至っても脈々と受け継がれています。この特色を大切にするとともに、さらに大きく発展させて、本区との関わりのある方々や団体、事業者の皆様がそれぞれの特色を生かして協働することにより、地域を良くしようという活動はより一層の効果をあげることができます。

そして、この協働の取組が広がり、積み重ねられていくことにより、「夢と誇りあるふるさと葛飾」を築くことができると考えています。

現在もさまざまな形で協働による素晴らしい活動や事業が活発に行われています。そのごく一部ではありますが、皆様にご紹介したいと考え、17団体に取材をさせていただきました。

今回で9冊目の発行となりますが、ご紹介した方々をはじめ、各方面の皆様からの反響も大きく、喜んでいただいております。今年も、この事例集により、本区で行われている協働の取組やそれに携わる方々の熱い思いなどを皆様にお伝えし、一人でも多くの方に地域を良くする活動に関心を持っていただき、また、参加していただけるようになればと考えております。

最後になりますが、本事例集の作成にあたって取材にご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

令和5年(2023年)3月

葛飾区長 青木 克徳

葛飾らしい協働

葛飾区では、

区と区民の皆様との連携に限らず、
区民の皆様が「より良いまちにしよう」

という思いをもって

日々取り組んでいらっしゃる全ての活動が

「葛飾らしい協働」であると考えています。

区民、事業者、団体等の多様な皆様が、

地域を良くしようという思いを持ち、

お互いに理解・尊重し合いながら活動することが、

「夢と誇りあるふるさと葛飾」を

実現していくための一歩となります。

皆様一人一人の「より良いまちにしよう」

という思いを「協働の活動」につなげつつ、

その活動の輪を広げていきましょう。

お話の“人を元気にする力・
傷ついた心を癒す力”を届けたい

お話の世界に一体化し、自分になりたくなる楽しさ、子どもたちとコミュニケーションする楽しさは、一度体験するとやめられません。

お話は人を元気にする力、傷ついた心を癒す力があります。そのことをどう届けるか、私たちはお話の世界に本気で向き合って活動しています。

季節や時間、参加者の年齢に合わせたお話を選ぶだけでなく、当日のリハーサルで、天候による光や音の届き具合を確かめて、話し方も仲間うちで遠慮なく指摘しあって真剣に調整しています。

子どもたちに、お話の世界に入り込むことで日常のもやもやした気持ちから開放されて、心が満たされる体験をして欲しいんです。中央図書館での絵本の読み聞かせのときに「もう1回」とアンコールを3回もらい、うれしくて心が震えました。



柴又おはなしころりんの皆さん



柴又語り会の皆さん

生の舞台の感動を子どもたちに届けたい!



ハンドベルの音色で
お話の妖精がやってきます



紙芝居



絵本の読み聞かせ



手折り絵本



手袋人形

柴又語り会の

&

柴又おはなし
ころりん

語りの魅力に、子どもたちが夢中!

毎月「おはなし会」を2グループで運営

柴又語り会の会と柴又おはなしころりんは、毎月第3土曜の午後に柴又学び交流館で「おはなし会」を開催しています。併設の児童館に来た子どもなど、毎回多くの子どもたちが参加してくれます。「おはなし会」は、お話の妖精を呼ぶハンドベルの音色でスタートします。語り、絵本の読み聞かせ、紙芝居、手袋人形などで、子どもたちは自然とお話の世界に引き込まれていきます。

「おはなし会」は、生の言葉でお話の魅力を子どもたちに伝えたいと、リハーサルから本番、反省会までスタッフみんなまで真摯に意見交換しながら活動しています。柴又語り会の会は、語りの講習会に参加した母親たちの集まりで、お話の世界を子どもたちに届けたいと発足しました。毎回、季節にあった題材を選び、お話の魅力を伝えていきます。また、参加者が声を出して楽しめる手遊びなどを一緒に楽しんでいます。柴又おはなしころりんは、人形や小道具などを手作りし、1年に1作品の新作人形劇を披露しています。作品を通して子どもたちの反応を受け止めながら、一緒にお話を楽しんでいます。2つのグループは、協力し合って活動し、保育園や図書館、小学校、学童、高齢者クラブ等にも出向き、活動の場を広げています。

〈連絡先〉生涯学習課
(電話) 03-5654-8476

子どもたちに
対面で、生の言葉で
魅力を伝えたい!



柴又おはなしころりん
代表 金子光子さん

柴又語り会の
会長 櫻井まり子さん

Point 1

子どもたちの「聞く力、想像する力、コミュニケーション力」などを醸成

Point 2

2つのグループが協力し合い、活動の場を拡大

Point 3

人形劇30年以上、語り会の会25年以上の活動実績



次の世代も住んで良かったと思えるまちにしたいです

親子の交流会では、皆さんで育児や病院、生活情報などを情報交換していますよ。特に、遠方から引っ越してきた方は、とても助かるみたいです。

参加いただいた皆さんから、「交流会は、お友達をつくるきっかけになりました。うれしいし何よりも楽しいです」、「子育てが大変な時に、子育ての先輩であるスタッフの方に、大丈夫だよってしてもらったのがうれしかったです」、「仲間ができたことで、まち全体が温かく感じられます」といった声をいただくことも。こうした反響は、私たちのやりがいにも通じています。

このまちに住んでよかった、このまちに帰りたいと思える憩いの場所であり続けられるように、こすげのわの活動を、次の世代に引き継いでいきたいと思っています。



いなば なおみ
稲葉 直美さん

やえがし まちこ
八重樫 真知子さん

Point 1

月2回、親子を対象にした交流会を運営

Point 2

親子の健康面をサポートする講座開催

Point 3

保健センターや児童館と協働し地域の育児支援に貢献



▲手づくりのチラシ



みんなノリノリ♪ 親子リズム体操



こんにちは！赤ちゃんたちのごあいさつ



絵本の読み聞かせ



“こすげのわ”の皆さん



ママさんたちに大好評！
歯科衛生士の出前講座



親子で集える“こすげのわ”

こすげのわ

子育ての悩み相談や仲間づくりの場

「こすげのわ」は、小菅一丁目に住む入園前の乳幼児の親子が気軽に集まることのできる親子交流会です。保育経験のあるスタッフを中心に13名で運営しています。実は10年前、この地域には乳幼児を連れていける場所がありませんでした。「親子で気軽に集まれる場所があったらいいのに…」そんな一人の子育てママの切なる思いから「こすげのわ」は誕生。今では、地域の仲間づくりの場として大きな存在となっています。

月2回行われる「こすげのわ」では、自己紹介から活動がスタート。住んでいる場所や普段遊んでいる公園などの情報も交えて話します。会場の雰囲気も和み、情報交換も活発に。時には子育ての悩みなども語り合います。交流会の後半は、親子で思いつきり体を動かすリズム体操です。子どもたちに人気とあって、会場は大いに盛り上がり、参加した親子は思う存分楽しんでいました。その他、保健センターから栄養士などを招き、親子の健康面をサポートする講座を開いたり、児童館の先生による遊びや絵本の読み聞かせなども行っています。

今後、「自分たちでやれることを、やれる時に、やれる人がやる」というボランティア精神のもと、スタッフも地域の親子も皆が笑顔でいられる場を提供していきます。

〈連絡先〉 青戸保健センター
(電話) 03-3602-11284



子どもたち、ママ、パパみんなの
笑顔で、疲れも吹っ飛びます！

以前はイベントで会場がぎゅうぎゅう詰めになることもありましたが、コロナ禍だと「どうぞどうぞ来てください」って言えません。そうした状況がつらいですね。でも、今年度は新たに3組の親子が入会してくれました。フラッと来て、ホッとする場所であり続けたいと思うので、うれしいですね。

活動の中で、子どもと一緒に遊んだり、舞台を見たりして心がワクワクする、ドキドキする、感動する、それを体感できて続けられるというのは、私たちにとって大きな喜びです。

人形劇を見たり音楽を聞いたりして、子どもたちが笑顔に包まれている、ママもパパも笑っている、そんな光景を見ると、あ～、楽しかったあつて疲れも吹っ飛びます。しんどいことがあっても、やってよかったな、ってつくづく思いますね。



遊びのイベントや舞台の最新情報は、
情報誌「こげき」かホームページを参照
<https://ka24kakogeki.jimdofree.com/ホーム>



生のステージパフォーマンスにみんなノリノリ！



理事
しのはら としこ
篠原 淑子さん

理事長
おおたけ きょうこ
大竹 京子さん

Point
1

プロの舞台鑑賞で
想像力を育む

Point
2

異年齢の人と
一緒に行う遊びの体験で
創造力を育む

Point
3

孤立した子育てを防ぎ
育児不安を軽減する
親子の居場所づくり



グッド・トイで
遊ぶ子どもたち



ゆったりルーム「あっぱっぴ」
親子ヨガ体験



親子表現
ワークショップ



世界で話題！ハンガリーの
人形劇「ミクロポディウム」



日本の伝統芸を目の前で鑑賞



遊びの体験は創造力を育てる！
新聞紙をつなげた巨大な
落ち葉の下で虫の気分！



みる・あそぶ・つながる
お互いを認め合える場づくり

NPO法人
かつしか
子ども劇場

NPO法人かつしか子ども劇場は、舞台鑑賞や遊びなどの文化的活動を通して、感性を育み、豊かな地域社会づくりに寄与することを目的に活動しています。

プロによる演劇やコンサートの鑑賞会、親子表現ワークショップの他、商店街と協力して行う忍者修行などのイベントも実施しています。

また、毎週火曜に3才までの乳幼児とその親の居場所となる、ゆったりルーム「あっぱっぴ」(参加費500円)を開催。優良なおもちゃと認定されたグッド・トイを用意したり、親とスタッフが育児の悩みを語り合う交流会などを行っています。

育児の相談、といってもスタッフの多くは専門家では

なく、ごく普通に子育てを経験した母親です。参加者からはこれが好評。育児の先輩たちからのアドバイスには説得力があり、ざっくばらんに話せるからです。

その他、ワークショップやまちを「あそび場」にするイベントなども開催。遊びの体験は、異なる年齢の人と出会い、さまざまな体験をする中で、たくさんの発見があり、創造力の育ちにつながります。

みんなで公園に行つてから遊ぶ内容を考えることもあり、親子にもとても人気です。

子育て中の親がホッとできる、子どもたちの遊びの場を目指し、これからも活動していきます。

〈連絡先〉子ども応援課
(電話) 03-5654-8578



“民生委員をやらなければ
出会えなかった人”と出会えます

最近、お年をとっても元気な方が多いです。でも一方では、困っている方もたくさんいます。民生委員、というだけで話をしてもらえない方も…。ですが、最初のコンタクトがスムーズにいくと、ずっとコミュニケーションがうまくいきますね。

民生委員は地域のいろんな人と話します。勉強になりますよね、自分が成長するというか。そして何か支援をした時に感謝されたり、ありがとうという言葉をもたらしたりしたときに、やりがいを感じますね。

「民生委員をやらなければ、出会えなかった人」と出会える」とよく言われます。ただ見聞を広めるだけではなく、民生委員をやる楽しさなどにもつながる言葉です。ボランティアをやっていて、いちばん充実感を得られる時じゃないでしょうか。結局のところ、それは私たち自身の幸せにもつながっているんですよ。



児童館でのイベント支援
のびのび測定(にこわ新小岩)



高齢者見守り訪問活動



令和2年度「優良民生委員児童委員協議会表彰」を受賞



「民生委員・児童委員の日」記念大会
協議会のコーラスグループ



合同民生委員児童委員協議会

※【民生委員・児童委員】厚生労働大臣より委嘱され、任期は3年。守秘義務が課されている。民生委員は児童委員を兼ねている。

地域の親密な見守り役

コロナ禍でも相談・支援を絶やさない!

葛飾区
民生委員児童委員
協議会

葛飾区民生委員児童委員協議会は、区内19地区の各協議会で組織され、現在約390名の民生委員・児童委員が活動しています。

民生委員・児童委員とは、福祉全般にわたる相談や支援を行うボランティア※です。生活に困っている方やひとり暮らしの高齢者、子育て中の方などの悩みや心配事の相談にのり、区や関係機関との橋渡し役となります。

令和3年度は、自宅に訪問して話を伺う「高齢者見守り訪問活動」を実施。引きこもりがちな高齢者と会話をすることで、日常的な関係づくりを行い、社会的な孤立を防いでいます。中には、電球の交換や洗濯機の不具合などを生活に身近なお願いをし、

されることもあります。

また、乳幼児の身体測定をする「のびのび測定」等のイベントの手伝いや、小学校登下校時のパトロールなども行っています。コロナ禍では、「ワクチン接種の支援」として予約代行や接種会場の案内などを行いました。

委員同士の交流を図るために、有志のコーラスや踊り等のグループがあり、親睦が深められています。

これらの活動は、全民生委員・児童委員が集まる「合同民生委員児童委員協議会(年9回)」で報告。区・関係機関と協議を行い、連携を強化しながら地域福祉の向上に努めています。

〈連絡先〉 福祉管理課
(電話) 03-5654-8244



会長職務代理
つむら ひさ子
津村 寿子さん

前 青戸地区 副会長
ふくだ よしえ
福田 芳枝さん

会長
こばやし たかお
小林 隆猛さん

Point 1

全員が75歳以上の世帯を対象に
高齢者見守り訪問活動

Point 2

小学校登下校時のパトロールで
地域の見守り活動

Point 3

コロナ禍における
ワクチン接種の支援

ポッチャが大人気!

皆さんの笑顔がとても楽しみです

簡単ヨガやポッチャに集まってくる方は、20名前後でしょうか。皆さん、楽しそうに和気あいあいとやっていますよ。生きがいでもあるようですし、交流としては有意義なんじゃないかと思えます。表情がいきいきとしますから。

「優良福祉地区」として表彰されたのもうれしいですね。会員の皆さんも我々も元気になるし、お役に立ててるって実感しますね。

ポッチャは人気です。パラリンピックの競技種目でもあったので。それにイスに腰掛けてもできますからね。

コロナ禍でしばらく活動できなかったので、12月から再開するのを皆さん楽しみにしているんじゃないでしょうか。会場も、1か所「ふれあいサロンあきみつ（東金町4丁目）」が増えて、通うのが便利になる方も多いんじゃないかと思えます。

皆さんの笑顔に接することができるのは、我々にとっても楽しみです。



ポッチャ

※ポッチャ…ヨーロッパで考案されたスポーツ。パラリンピック正式種目。



簡単ヨガ



スポーツ吹き矢

東金町地区小地域福祉活動推進委員会の皆さん



健康づくり推進員
やはぎ かずみ
矢作 和美さん

委員長
こばやし かずひろ
小林 和博さん

Point 1

健康体操やポッチャ、簡単ヨガなどを茶話会と合わせ月2回開催

Point 2

活動のPRを目的に毎年9月に、いきいき安心健康フェアを開催

Point 3

健康マージャンや盆踊り練習会など新規事業も活発に企画



つながりを途切れさせない!
コロナ禍は屋外でラジオ体操を実施



顔を合わせてお茶を飲むと自然と笑顔があふれます!

孤立を防ぐ! 顔が見える関係づくり
簡単ヨガやラジオ体操で、高齢者の見守り・支援

東金町地区
小地域福祉活動
推進委員会

東金町地区小地域福祉活動推進委員会は、東金町地区の住み慣れた地域で、住民同士の顔が見える関係づくりを通じ、社会的な孤立などを防ぐ福祉のまちづくりを目指して活動しています。福祉のまちづくりの推進に功績があったことを認められ、令和2年度東京都社会福祉大会で優良福祉地区として表彰されました。主な活動として、健康体操やポッチャ※、簡単ヨガ、スポーツ吹き矢、茶話会などの「健康サロン」を東金町地区センターで月2回開催。コロナ禍で活動を休止していましたが、令和4年12月から再開することになりました。中でも人気は、簡単ヨガやポッチャです。家にこもりが

ちで運動する機会が少ないとあって、皆さん思う存分、伸び伸びと体を動かします。また、腹式呼吸と日本古来の吹き矢を融合させたスポーツ吹き矢は、指導員がいるので初心者でも簡単にできて、誰でもゲームを楽しめます。新たに、健康マージャンや盆踊り練習会も12月から開始しました。その他、毎年9月には、委員会活動のPRを目的に「いきいき安心健康フェア」を開催しています。推進委員会では、今後も住民の健康面や生活面の課題を区や医療、福祉、保健等の専門機関等と連携しながら見守り、支援していきます。

〈連絡先〉 福祉管理課
(電話) 031565418242



みんなが責任もって活動、
それが最高!



あさの ゆきつぐ
代表 浅野 幸継さん

スタッフがみんな責任もって、活動作業を分担してくれています。それがとてもうれしいです。私は、輪投げの道具とかポッチャ用ボールなどの荷物を運ぶだけ。みんなに支えられています。

葛飾は人情が深いですよ、義理と人情で活動できてます。こうやって集まれば、お互いの“(高齢者の)見守り”にもなるからね。

以前はカラオケとかお食事会等もしていましたが、コロナ禍で止めてしまったんですね。今は輪投げとポッチャを交互にしているだけなので、参加してくれている人が飽きちゃわないか心配です。何か新しい遊びを見つけなくちゃと思っています。

リーダーを引き受けているのも、妻に引っ張られてね、それでしているんです。本当は引っ込み思案な方なだけども…(笑)。何で続けてこれたのかって？一番はやっぱり自分の健康のためですね!

輪投げゲーム 成績優秀者は豪華!?お菓子進呈!



葛西神社ラジオ体操はつらつ会メンバーの皆さん!



Point 1

地域の高齢者の健康維持と見守りの役割を担う

Point 2

ゲームと健康体操で笑いの絶えない場

Point 3

コスモス秋桜クラブと情報交換、参加者が飽きない工夫を盛り込んでいる



毎週土曜日
やってるヨ!

楽しさ満載サロン!

ゲームと体操で健康年齢の維持

葛西神社
ラジオ体操
はつらつ会

健康年齢の維持・向上を目的として、葛西神社ラジオ体操のグループから自主サロン活動の形で誕生したのが「葛西神社ラジオ体操はつらつ会」です。会員同士で楽しむため、輪投げやポッチャなどのゲーム性のある遊びと「健康体操」を組み合わせたプログラムを行っています。静かな住宅街にある「金町つつみ集い交流館」を活動拠点に、代表や運営スタッフが協力して毎週土曜(月4回)にかかさず開催してきました。毎回20名程度が集まり、笑い声の絶えない場となっています。参加者の多くは女性ですが、代表の浅野幸継さんを慕って5、6名の男性も混じって、和気あいあいと交流しています。

令和3年度は、コロナ禍のため一時活動を休止しましたが、それでも年間37回開催し、延べ510名が活動に参加するほど人気の集まりです。実は、代表の幸継さんの妻、佳子さんもご自身でサロン活動(秋桜クラブ、15ページ掲載)を行っています。2人は両方の活動を充実させるために情報交換を常に行って、参加者が飽きないように工夫しています。

夫婦で活動
しています!



〈連絡先〉地域包括ケア担当課
(電話) 031569816202



次の世代も“住んで良かった”
と思えるまちにしたいです

秋桜クラブの活動って、5名のスタッフがアイデアを出し合って決めているんですよ。

企画の面白さは必要ですが、特に気を使っているのは時間が長すぎて会員の皆さんが飽きないことですかね。

高齢の女性の皆さんが多いんですが、好評で、出席率がすごく良いんです。開催の日には時間になると自転車などで駆けつけてくれます。

皆さん、とても楽しみにしているみたいです。同じ地域に住んでいても横のつながりって、なかなかできませんからね。ええ、ここではすぐ打ち解けて、つながれますよ(笑)。足腰の具合がどんな状態か話し合ったり、イベントで撮った写真を見せ合ったり、同じ話題がありますから。皆さんが元気で、楽しんでくれている様子を見ると、あーこの企画やって良かったなって思います。



あさの けいこ
代表 浅野 佳子さん



ボッチャはいつも大盛り上がり!



いざ、真剣勝負!



糸電話レクリエーション
最後まで正確に
伝わるかな?



ムリなく、楽しく!
週1回の体操で健康維持



イチニサン

椅子を使った体操で、
高齢者たちの介護予防に!

コスモス
秋桜クラブ

秋桜クラブは、高齢者たちの健康維持を目的に、毎週金曜、東金町七・八丁目自治会館に集まり活動をしています。

主な活動は、介護予防や認知症予防のための「椅子を使った体操」です。足腰が弱っている人でも比較的楽に、椅子に座ったまま体を動かすことができます。会場に設置されたビデオモニターに合わせて、皆さん両腕を上げたり、左右に振り回して、ゆったり、おおらかに体操を楽しんでいます。

秋桜クラブの会員は20名で、活動内容もメンバーが自主的に企画・運営しています。特に人気があるのは、パラスポーツの正式種目でもある「ボッチャ」と呼ばれる球

技です。チームに別れ、投球したボールをどれだけ正確的に近づけることができるかなどを競います。

参加者みなで楽しめるように、自分たちでオリジナルのルールを考え、かんたんボッチャにしました。この競技が始まると声援が飛び交い、得点の競い合いで会場は大いに盛り上がります。

その他、紙コップで糸電話をつくり伝言ゲームを楽しんだり、悪徳商法の被害防止等呼びかける活動をするなど、地域との支え合いを推進しています。

〈連絡先〉 地域包括ケア担当課
(電話) 03-5698-6202



正確的に近づけることができるかなどを競います。

秋桜クラブの皆さん



Point 1

秋桜クラブの運営で地域の横のつながり・支え合いを推進

Point 2

椅子を使った体操で高齢者たちの健康維持

Point 3

ボッチャのゲームが大人気、和気あいのクラブづくり

親の世代から土地家屋調査士 地元つながりでスピード対処!

私の場合は父親が土地家屋調査士をしていたので、その事務所を引き継いで業務を行っています。私のように親の跡を継いでいる者もいれば、新たに事務所を開いている者もあります。何か仕事で分からないことや相談したいことがあると、支部の仲間や諸先輩方に助けてもらうことができます。

皆さんは道路に埋まっている「基準点*」を見たことがありますか? これは地図作成や測量を行う際などに基準となるものです。区の基準点は道路とともに適正に管理されているので、私どもも円滑に測量を進めることができます。



※基準点

敷地の境界は隣地との境界標が入っていないことで、さまざまなトラブルにつながりますので、測量して境界線をはっきりさせたいと、土地を管理していくことが大切です。そうしておくことで、将来、土地の売却や分割をすることがあった場合に役立つかと思えます。

支部長
土地家屋調査士・測量士
つかもと きんや
塚本 欣也さん



登記 測量 無料

相談会

こんなときに相談しよう!

境界のトラブル

お隣の木の枝が、うちの敷地にはみ出しているような気がします...

うちとお隣が主張する境界線の位置が違います。話し合っていますが、合意に至りません!

相続の困りごと

親の遺産の4階建てマンション一棟を、兄弟4人で各フロアごとに相続することはできるのでしょうか?

相続に伴って、土地の一部を隣家に売りたいのですが...

土地や建物の手続き

自宅を2階建てに増築しました。手続きは?

自宅を取り壊します。どんな手続きが必要ですか?



表示登記の日・相談会



境界標

葛飾の土地の境界ならお任せ

地元の土地家屋調査士が区民相談

東京土地家屋調査士会
葛飾支部

東京土地家屋調査士会葛飾支部は、土地の境界にまつわる困りごとの区民相談を行っています。活動の一つが、区役所2階・区民相談室の「登記・測量相談」です。毎月第3木曜の午後1時から、土地家屋調査士の国家資格を持つ会員が対応しています(要電話予約)。

「登記・測量相談」が開始した平成10年から、区からの報酬を受けずに無料相談を続けています。

一番多い相談は、越境問題。隣の屋根がはみ出ているとか、隣の家のブロック塀が私の敷地に立っている、などといった相談です。土地の境目をはっきりさせれば、解決の糸口が見つかるので、測量することをアドバイスします。

次に多いのは、土地の売却をする際に不動産会社から測量して境界を確定するよういわれる、どのようにするか分からず相談に来られるケースです。

その他、毎年4月1日の表示登記の日※には区民ホールで区民相談を、年度末には他の土業団体と一緒に「区民相談室一斉相談会」を行っています。

コロナ禍では面談と電話の相談に加え、ビデオ通話アプリを活用したオンラインでの相談を開始するなど、大いに活躍し続けています。

※昭和35年4月1日に「不動産登記法」が改正され、不動産表示に関する登記である「表示登記」が創設されたことから、毎年4月1日は、「表示登記の日」となった。

〈連絡先〉 すぐやる課
(電話) 03-5654-8448

Point 1

無償で区民相談「登記・測量相談」を24年以上

Point 2

毎年4月1日の表示登記の日も区民ホールで相談対応

Point 3

無料ビデオ通話アプリでオンライン相談に対応



大切な財産を守るための知識を
損得抜きで伝えています

「家や土地を買う」という、多くの人にとって“生涯の中で最も大きな買い物”に関われる、というのが不動産ビジネスの魅力です。だからこそ、一般の方が知らなかったから損してしまう、財産を失ってしまう、そんな事態を避けられるようにと思います。

不動産は大きな金額が動くからこそ、無知によって財産を失うことになりがちです。区民相談室では損得抜きで、不動産取引について知っていることを相談者に伝えてあげたいと思っています。

でもね、不動産業者はごく一部の悪い人のおかげで、全員が悪い人って見られがち。揶揄されることもあるんですよ。迷惑です。ほとんどの不動産事業者は真面目に、誠実にやっています。

区の相談室では特にクリーンに、自分の利益に結び付けない、ということで、これからも公平に続けていきますよ。

ベテランも勉強して
オンラインでの相談
対応してます!



支部長
あおき けんじ
青木 堅治さん



不動産の取引に伴う
さまざまな不安やお悩みを
相談いただけます

土地・建物／売買や賃貸借

・契約や価格

借地・アパート等の賃貸の問題

・契約更新 ・敷金／礼金
・家賃相場 ・仲介手数料
・明け渡し ・共益費



不動産に関する各種保険

・火災保険(家財保険) ・地震保険
・団体信用生命保険 ・家賃保証会社

賃貸トラブル

・不動産会社とのトラブル
・隣室とのトラブル
(騒音、マナー違反、
迷惑駐車等)



その他、不安や悩み相談

・高齢者等の賃貸への
入居不安
・連帯保証人がいない



オンラインと電話で
相談受付中!



Point 1

無償で区民相談
「不動産取引相談」を
40年以上

Point 2

誠実で公平な不動産
アドバイスを提供

Point 3

無料ビデオ通話アプリで
オンライン相談に対応



経験豊富な葛飾区支部
相談員の皆さん

損得抜きの不動産アドバイス!
相談に誠実に応え、40年超

公益社団法人
東京都宅地建物
取引業協会
葛飾区支部

(公社)東京都宅地建物取引業協会葛飾区支部は、区の不動産事業者が加入している協会です。区と協働し、毎月第2・第4火曜の午後1時から区役所の区民相談室で「不動産取引相談」を実施。借地トラブルなどを抱えた区民に対して、葛飾区支部の役員が、無料で相談に応じています(要電話予約)。

日常生活の中では得られない、ためになる公平なアドバイスがもらえるという評判です。区の仕事として行う限り、情を絡めることはご法度という考えで、「相談担当は自社の名刺を渡さない」ことを徹底しています。

相談で最も多いのは、借地トラブルです。民法や借地借

家法には更新料の規定がないため、借家に住む方が「更新料は払う必要はないのでは?」と疑問視しているケースです。その他、大家さんから一方的に今住んでいる借家を明け渡すと言われて困っているなどの相談も多くなっています。

借地借家法の背景は複雑なため、ベテランでないとトラブルを回避できる最適なアドバイスはできません。幸い、葛飾区支部では経験豊富な者が対応していて、損得抜きの助言ができています。

コロナ禍の中では、オンライン相談と電話で積極的に対応し、区民生活の安定のために一役買っています。

〈連絡先〉 すぐやる課
(電話) 03-5654-8448

鉄道の立体交差化の次は、新しいまちづくりにも力を入れたいです

やっとこぎつけました。みんな喜んでますよ。都が立体交差事業の着工準備に係る補助金を要望して、国が認めてくれたんですから。時間はかかりましたが、区も親身になってやってくれています。

それにしても行政の手続きって、時間はかかるし、言葉が難しくよく分からないんですよ。最初の頃は戸惑いましたが、やっと慣れてきました。

とにかく、開かずの踏切を解消したい、っていうのが我々の長年の夢なんです。初代事務局長の石川さんには、区との調整などきめ細かくやってもらいました。会長はもう三代目ですから長い運動です。

高砂駅周辺の商店街では、「駅の高架化を早期に実現しましょう」、「未来のまちへの連続立体」等のフラッグを再度街路灯に掲げました。

鉄道の立体交差化に伴って、高砂商店街などを中心とした新しいまちづくりにも力を入れたいです。



会長
せきね よしお
関根 芳夫さん

会計
かみや とよひこ
神谷 豊彦さん

事務局長
せきね まさよし
関根 政義さん

活動の経緯 (略歴)

2002年 平成14	高砂地区開発協議会 発足 石原都知事(当時)に踏切解消の要望書を提出
2005年 平成17	高砂駅周辺のまちづくりの検討を開始 京成本線立体化を促進する住民決起大会の開催
2006年 平成18	鉄道立体化の要望書と地域住民約13万人の署名を国土交通省及び東京都へ提出
2008年 平成20	高砂駅周辺のまちづくり報告会を実施
2009年 平成21	高砂駅周辺まちづくり基本構想を区へ提案 早期事業化を求める要望書を京成電鉄へ提出
2010年 平成22	高砂音楽祭でのまちづくりPR活動を開始
2011年 平成23	高砂駅金町線ホーム南側にエレベーター設置 高砂駅周辺まちづくり方針策定
2018年 平成30	高砂駅周辺をより良くするため駅周辺地区まちづくり検討会を開催
2021年 令和3	検討会を踏まえて、京成高砂駅北口地区市街地再開発準備会が発足
2022年 令和4	連続立体交差事業 着工準備採択

設立20周年! 高砂地区開発協議会



Point 1

地道な努力が実り
連続立体交差事業
着工準備採択

Point 2

鉄道立体交差化を
見据えた高砂駅周辺の
まちづくりの検討

Point 3

高砂地区開発協議会
ニュースの発行、
高砂音楽祭でのPR活動



勉強会の様子



開かずの踏切を解消したい!
活動20年 鉄道立体交差化へ一歩前進

高砂地区開発協議会

京成高砂駅付近にある「開かずの踏切」。交通渋滞や歩行者の安全性・利便性から地域の発展に影響を与え、長年の課題となっています。20年前、この問題を解決すべく駅周辺の自治町会や商店会が声を上げ、高砂地区開発協議会が発足。「開かずの踏切」問題の抜本的な解決策である、鉄道立体化の早期実現に向け活動を始めました。活動は多岐に渡り、勉強会の実施や鉄道立体化を見据えたまちづくりの検討、国や都等への要望書提出などを、区と協力し進めてきました。そして令和4年4月、「開かずの踏切」問題は、ついに新たな局面を迎えました。京成高砂駅から江戸川駅付近の連続立体交差事業が、国

から新規着工準備箇所※として採択されたのです。このニュースに、協議会と地元住民は大いに喜び合いました。商店街では、一度取り外していた鉄道立体化の機運を高めるためのフラッグを再度掲げました。協議会では、年1回「高砂地区開発協議会ニュース」を発行し、地域のイベントで配るなど、活動について情報発信しています。今後も、地域の方や区とともに、「開かずの踏切」の解消と魅力あるまちづくりを目指し走り続けます。

※「新規着工準備箇所」国が事業に関わる総合的な評価を行い、準備・計画を実施していく路線と判断した箇所。
(電話) 03-5654-1834

新しい人が参加しやすい、
気楽さと達成感のある活動！

みんなボランティアでしている活動ですが、たくさんの方が積極的に参加してくれています。まちがきれいになる快感があるから楽しいです。ノルマもないので、苦にならないから自然とできちゃうようになります、本当に。

ごみ拾いは1人でも参加しやすい活動です。取材の日も1名、新しい方が活動に参加してくれて、顔を合わせてご挨拶することができました。

この活動でちょっとの時間でも人に会える、というのもいいんです。コロナ禍でも月2回ごみ拾いに出れば人と話せるから、それは改めてやって良かったと感じました。

活動を続けていくうちに、東京聖栄大の学生さんや商店会の方も参加してくれるようになりました。自然と地域のつながりができるというのも、この活動の大きな魅力のひとつですね。

会長
すざき たかあき
須崎 隆昭さん



前会長・現会長・環境部の皆さん

Point 1

月2回の継続的な
清掃活動で
まちの美化に尽力

Point 2

口コミで広がって成功
周辺の自治町会、大学、
商店会等が参加

Point 3

花いっぱいのもちづくり
推進協議会メンバーを兼任、
駅前広場の花壇整備も行う



参加団体

- ・新小岩第六自治会
- ・西新小岩一丁目都営自治会
- ・西新小岩二丁目都営自治会
- ・西新小岩四丁目町会
- ・西新小岩リバーハイツ団地自治会
- ・東京聖栄大学職員・学生
- ・新小岩北口商店会 など



ごみを拾いながら
駅前に集結する皆さん



次回分の
ごみ袋を配布！



ごみ拾いの最後に
花に水やりして
終了！



毎回30~40名が参加
新小岩駅周辺がピッカピカ★

清掃活動、20年超！

自分たちのまちは、自分たちの手で美しく！

新小岩
第六自治会

新小岩第六自治会は、新小岩駅北口周辺で自発的に掃除を行っています。平成15年から、毎月第1・第3土曜に、「新小岩駅北口クリーン作戦」を実施しています。朝9時までに1人ひとりが自宅から新小岩駅北口駅前広場まで、ごみを拾い集めてくるのが決まりです。周辺の自治町会や東京聖栄大学の学生、商店会、区職員等も加わり、毎回30~40名が参加し、リヤカー1台をこみで山盛りになっています。帰りには、次回のための新しいごみ袋をもらえます。加えて、コーヒー1杯の差し入



れがあることもあり、皆さん労をねぎらい合うとさわやかに解散していきます。きっかけは20年前。当時の新小岩駅周辺は、ポイ捨てたばこが大量に散らかり、「まるで吸い殻が花吹雪のよう」な状況でした。この状態を改善すべく、当時の会長・小久保吉朗さんが自治町会仲間と声をかけて、清掃活動を始めることになりました。続けていくうちに、たばこの吸い殻は徐々に減少、今では見違えるようにきれいになりました。また、北口駅前広場の花壇整備も行っており、駅前に花が増えて美しい彩りを添えています。

〈連絡先〉 地域振興課
(電話) 03-5654-8219



有事に備え日々訓練 避難・誘導の
声掛けが消火隊の務めです!

「なんとかして、若い隊員を増やそう!」
と色々な所で30代や40代の知り合いに
声を掛けたら、「協力できますよ」と集まっ
てくれたんです。うれしかったですね。

若い隊員も加わり、みんなで市民消火
隊を盛り上げようと、制服などをそろえて
統一感を出しました。私には娘がいます
が、カッコよく見せたいと思いますし、娘
からもそう見られたい。カッコいいお父
さんっていいでしょう。

消火隊は有事の際に備えて訓練してい
ます。いざという時には、しっかりお役に
立てたらと思います。

今、隊員は11名いますが、AEDの操作
や心臓マッサージなども全員に覚えて
もらい、誰でも心肺蘇生ができるように
したいです。

火事でモノは燃えてしまうかもしれま
せんが、何よりも“人を助けたい”って思
います。避難・誘導で声を掛け合う!それ
が我々消火隊の務めです。



ホースを巻く訓練



日頃の訓練成果を披露、市民消火隊操法大会



三角巾を使った
応急手当の訓練



隊長
ほり ひろふみ
堀 博文さん

令和4年入隊
わだ のぶひこ
和田 信彦さん

隊長の堀さんに誘われて
この人と一緒なら、と思い
消火隊に入りました。

Point
1

消火訓練、心肺蘇生、
AED等の救命講習訓練
を徹底

Point
2

若い隊員加入で
魅力的な消火隊を
目指す

Point
3

コロナ禍以降も
毎月の訓練を継続



月1回、消火訓練を
しています! 隊員募集中!

活動も
制服も

若い隊員が加入!

“魅力的な消火隊”を目指そう!

新小岩第二町会
市民消火隊

新小岩第二町会市民消火
隊は、毎月1回、災害に備え
て小型消防ポンプやスタン
ドパイプなど移動可能な消
火器具を使用した消火訓練
を行っています。
また、各消防署で実施して
いる心肺蘇生やAEDの使
い方などの救命講習も受講。
区内にはおよそ30隊の市民
消火隊がある中で、令和3年
度の訓練実績が一番多かつ
た消火隊です。
日頃の訓練成果を披露す
る場として、年に1回、消防
ポンプの操作技術を審査す
る市民消火隊操法大会にも
出場し、チームワークや安全
性などを高めています。
高齢化によって隊員数や
訓練回数が減っている中、本
隊は若い隊員の加入促進に

奮闘。「魅力的な消火
隊を目指そう!」
と統一感のある
キビキビとした
活動面、制服姿
のビジュアル面を
アピールし、意欲的
に啓発を行っています。
隊員の募集は、町会のイベ
ントでセルフ整体法を教え
たり、生活習慣のアドバイス
をするなど、さまざまな地域
活動をしている堀博文隊長
の人脈を活かして行っていま
す。周辺の地域にも積極的に
声掛けし、令和4年度は、隊
員が2名増えました。
コロナ禍以降も毎月の訓練
を継続して行い、地域の防災
力向上に貢献しています。
(連絡先) 地域防災課
(電話) 03-5654-8224



メロンの網目のように、
みんなのつながりを広げたい!

商店街でメロン栽培しているというと、皆さん驚きますね。実は、ある商店街会員が「堀切の路地が複雑すぎて(迷いやすい事で有名)、まるでメロンの網目みたいだね」と言ったことがきっかけで、「メロンを育てる商店街」に取り組んだら、有名になれるんじゃない? と思いつき、メロン栽培を始めました。

「メロン育て隊」のメンバーは、今50名くらい。鉢でメロンを育てるのは大変なのよ。身内だけでなく地域の人巻き込んだイベントだから、責任持ってちゃんと育て方を伝えようと「栽培マニュアル」も作りしました。毎年プロの栽培者の家にも勉強会で行くんだけど、逆に「街中で栽培でしょ、よく育つねえ」と言われます。夏の「収穫祭」では、栽培に初挑戦の人が優勝することも。愛情を持って丁寧に育ててくれて、感動します。

今は10年続けるのが目標。メロンをきっかけに会話が始まって、育て方を教え合うなど、みんなのつながりが増えていくのがうれしいです。

会長
いわさき おさむ
岩崎 修さん

Point 1

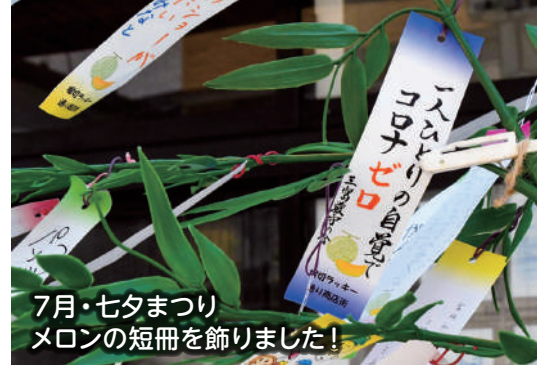
「メロン育て隊」が
都の商店街グランプリで
準グランプリを受賞

Point 2

地域の憩いの場
「さちのぼ」を開設

Point 3

青年婦人部が活躍
子どもや若者の
イベントも多数開催



7月・七夕まつり
メロンの短冊を飾りました!



8月・メロン育て隊 収穫祭



10月・ハロウィンは約400名の人出!



11月は
堀切まち歩き
&
銭湯
やりました!



7年
続く
商店街のマップ



メロンを育てている
商店街は他にない!

商店街の“メロン育て隊”収穫祭

ユニークなイベントで地元を元気に!

堀切
ラッキー通り
商店街

堀切ラッキー通り商店街では、春になるとマスクメロンの苗木鉢が、あちこちの店頭に登場します。恒例の「堀切ラッキー通り」メロン育て隊」の活動開始です。商店街と地域の人たちが一緒になってメロンを育て、夏には「収穫祭」と称して、メロンの重さを競い合うユニークなイベントを開催します。

この活動は、マスコミにも多数取り上げられ、東京商店街グランプリでは準グランプリを受賞しました。

もとは、商店街活性化に向け、会員間のコミュニケーション不足解消のために始めたメロン栽培。これを商店街みんなで取り組んだところ、地域の方の参加にもつながり大当たり。今やメロンデザイン

のTシャツやマスク、シーリングなどのオリジナルグッズも誕生し、すっかり商店街の“顔”となりました。

勢いを得た商店街は、空き店舗を活用し、コミュニティカフェ&ギャラリー「さちのぼ」をオープン。現在、週3回のワンデーイベント開催会場として運営。「メロン育て隊」の拠点として、また、婦人会や老人会の会合など、にぎやかに使われています。

さらに青年婦人部が中心となって、子ども向けに七夕やハロウィンのイベントを、若者向けに「堀切銭湯ウォーク」を開催するなど、まちを元気にする熱い活動が行われています。

(連絡先) 商工振興課
(電話) 03-3383-5559



やっぱり人情のまち葛飾です
びっくりする量が集まっています

フードドライブでは、びっくりするような量が集まっています。他の地区でもやっているんですが、人情のまちというのが数字に出ているというか、ケタが違います。



フードドライブって、周知の仕方が大変なんです。その点、区の広報紙に載ると、ものすごい量が集まります。

区民の皆さん同士で連絡を取り合ってきてくれるんだと思いますが、ヨコつながりがあって、とても積極的ありがたいです。葛飾ってすごいなあって思います。集まった食品を回収しに来た方が、「こんなにたくさん！」ってびっくりしています。

フードドライブ常設型ボックスを置くことで、いつでもフードドライブに協力できるようになったと区民の皆さんも喜んでくれました。私たちは地域の人たちとつながれたことに、やりがいを感じています。



コープみらい
東京1ブロック委員会
ブロック副委員長
やまかわ ともこ
山川 智子さん

コープ葛飾白鳥店
店長
さいとう としろう
斉藤 俊朗さん



食品を入れる
常設型
ボックス

お持ちいただきたい食品 (一例)

賞味期限が2ヶ月以上あるもの

- レトルト食品、インスタント食品
- 海苔、お茶漬けの素、ふりかけ、缶詰・瓶詰
- 乾麺 ○お米(精米2年以内)
- 調味料 ○介護食
- お菓子類 ○ギフトパック(お歳暮など)

お預かりできない食品 (一例)

- ×賞味期限が明記されていないもの
- ×開封されているもの ×冷凍・冷蔵食品
- ×アルコール類(料理酒は除く)
- ×生鮮食品 ×包装や外装が破損している



コープ葛飾白鳥店



スタッフもビックリ
大量の食品が集まります!



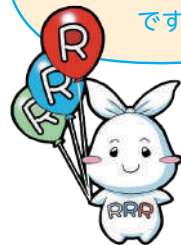
食品ロス削減 まだ食べられる食品が大量に集まる!
フードドライブ 常設型ボックス

生活協同組合
コープみらい
コープ葛飾白鳥店

生活協同組合コープみらいコープ葛飾白鳥店は、食品ロス削減を目的として、店内にフードドライブの常設型ボックスを設置しています。フードドライブは、家庭に眠っている未使用の食品類を集めて、フードバンクを通じて施設や団体等にお渡しする活動です。常設型ボックスの設置により、店舗の営業時間であれば、いつでも誰でも買物物ついでに利用ができるようになりました。実際、家庭で食べきれずに余ってしまった「まだ食べられる食品」が大量に集まり、食品ロス削減に貢献しています。この常設型ボックスに集まった食品類の総量は、フードドライブを始めた令和4年

〈連絡先〉リサイクル清掃課
(電話) 03-5654-8273

食品ロス削減のため、
まずは必要な量を
購入して「余らせない、
ことも大切です」



葛飾区ごみ減量・
3R推進キャラクター
リー(Ree)ちゃん

3月から12月までの10か月で約1.7トン。これは、フードドライブを実施している都内の店舗の中では、一、二を争う驚異的な量で、その成果にスタッフもびっくりです。「広報かつしか」にフードドライブの記事が掲載されると、反響も多くその量は大幅に増えるそうです。常設型ボックスで集まった食品類は、子ども食堂を通じて、必要としている方に、無償で提供されています。

Point 1

フードドライブ
常設型ボックスを
コープ葛飾白鳥店に設置

Point 2

まだ食べられる食品が
大量に!
10か月で約1.7トン

Point 3

広報かつしか等の
告知により大反響!

難しいリサイクルの話を
分かりやすく伝えるよう、
工夫しています

環境学習では、実際に使われている自販機横リサイクルボックスを使って回収の仕方を紹介するんですが、子どもたちが実によく知っていて驚かされます。

興味を持ってもらえる姿を見ると、本当にうれしいですね。身近な問題だからでしょうか。子どもたちはまるで予習してきたかのように積極的に発言されていて。

リサイクルの分野は堅苦しくなりがちなので、私たちはできるだけ簡単な言葉、分かりやすい表現で説明しています。簡単に伝わる方法として、動画も取り入れています。

区と行っている「ボトルtoボトル」の取組は各方面から反響がありまして、とてもやりがいを感じます。私たちが取り組んでいるリサイクルの活動が全国に広がり、子どもから高齢者まで、多くの方に浸透していければと思います。



小学校4年生対象の環境学習



「ドリンクジャパン」(令和3年)
パネルディスカッションで取組をPR



企画部 部長
おかもと 晃忠さん

企画部
ふくだ あいさ
福田 愛紗さん

企画部 副部長
かじき ひろのり
加治木 浩則さん

Point 1

区と協定を結び
「ボトルtoボトル」の
周知・啓発を実施

Point 2

小学校で環境学習
「ペットボトルのリサイクル
について」を開催

Point 3

「ドリンクジャパン」で
区との協働
「ボトルtoボトル」をPR



ボトルtoボトル啓発ポスター

区役所前広場にリサイクルステーション



自治体と業界団体が全国初タッグ

使用済みペットボトルを再びペットボトルへ!

一般社団法人
全国清涼飲料
連合会

（一社）全国清涼飲料連合会は、令和12（2030）年までに、ペットボトルのリサイクル「ボトルtoボトル」※1比率50パーセントを目指して活動しています。

区とタッグを組み、全国初となる「ボトルtoボトル」に関する協定を締結。「ボトルtoボトル」の推進や啓発を協働で行っています。

その一環として、小学4年生を対象に、環境学習を開催。「飲んだ後にペットボトルをどうやって資源として再生するの?」、「なぜ中を洗ってつぶして捨てるの?」など次々と質問が飛び出し、子どもたちの強い関心や積極的に学ぶ姿勢に驚かされました。また、難しくなりがちなりサイクルについて、簡

単な言葉で分かりやすく伝えることが大切だということも再認識しました。

令和3年度には、区役所にリサイクルステーションを1か月間設置し、ペットボトルラベル・キャップの3分別の実証実験を実施。さらに、啓発ポスターの掲示やアンケート調査を行いました。

これらの区と協働で行っている取組を、イベント「ドリンクジャパン」※2でPRしたところ大反響を呼び、他の自治体やメーカーから多くの問い合わせがありました。

今後も「ボトルtoボトル」を推進していく仕組みを全国に広げ、より良い資源循環の実現を目指します。

〈連絡先〉リサイクル清掃課
(電話) 03-5654-8271

※1【ボトルtoボトル】…使用済みの製品をいったん資源とし、同じ製品として生まれ変わらせる水平リサイクルの1つで、使い終わったペットボトルを原料として、再びペットボトルにすること。2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す取組の一つ。

※2【ドリンクジャパン】…飲料業界最大のイベント。飲料関連事業者の出展とセミナーで構成。



協定式(令和3年)
(左)全国清涼飲料連合会 米女太一会長(当時)
(右)青木克徳葛飾区長

立石から音楽の灯を消したくない

僕は音楽が好きなので、地元のミュージシャンたちのことは、よく知っているんです。ですから出演者選びも企画を練るのもそんなに大変ではありません。できるだけ多くの人に見てもらいたいのので、行きつけの喫茶店「Reno Lococo」などでPR活動を良くやっています。店の方も、顔見知りのお客さんたちも声かけを手伝ってくれています。

オンラインのライブ配信も、趣旨に賛同してくれた方々が手伝ってくれています。技術陣を始め皆さん、プロの専門家です。他にも、スタジオの仕事をしているプロの方たちが、手伝ってくれるんです。僕は友だちに恵まれているんですよ。

立石から音楽の灯を消したくない、って思っています。コロナで、一時消えそうになりましたから。時代を超えて灯し続けたいですね。

立石ぴいこ音楽祭
ホームページ



実行委員会 代表
のぐち たかし
野口 卓さん

Point 1

地元のミュージシャンたちに
発表の場を提供

Point 2

コロナ禍でも
中止はせずに
オンラインで配信！

Point 3

区民に身近な場で
文化芸術に触れてもらう



大型モニター
で中継
大好評でした！



立石から音楽の灯を消すな！



野外ライブの様子



地元のミュージシャン大集合！

コロナ禍で 音楽祭をオンライン生配信

立石ぴいこ
音楽祭実行
委員会

立石ぴいこ音楽祭実行委員会は、地元のミュージシャンたちに発表の場を提供したい。地域の方に身近な場で文化芸術に触れてほしいという思いで「立石ぴいこ音楽祭」を主催しています。多くの音楽イベントがコロナ禍で中止する中、「立石ぴいこ音楽祭」は、音楽の灯を絶やさないという信念のもと、オンライン配信に切り替えて開催し続けてきました。第18回目の令和4年度は、堀切ラッキー通り商店街メロンの歌をつくった小林聡さん、町中華や大衆酒場などを落語のように語り、ジャズに歌うヒロコフォンさん、バンドメンバーを率いてファンキーなポップソングを歌う高畑元翔さんなど、地元

葛飾で活躍するアーティストたちが参加しました。その他、他団体が実施している東立石緑地公園での野外ライブ等に立石ぴいこ音楽祭のメンバーが出演し、会場を盛り上げるなど活発に活動しています。「ぴいこ」とは、昔立石にあった音楽好きの集まる「ライブ喫茶ぴいこ」が由来です。そして、マスターの姪で当時立石に住んでいたLilicoさん(かつしか観光大使)の愛称でもあります。実行委員会では今後も、新しい地元ミュージシャンの発掘を続けながら、音楽を通じてまちを盛り上げていきます。

〈連絡先〉文化国際課
(電話) 03-5670-2259



仲間と一緒に
一喜一憂が最高に楽しい!

令和4年度は、区民大会が3年ぶりに再開できて良かったです。小さいお子さんのいる家族も総出で、朝から球場に並んでましたね。皆さんに楽しんでいただいて。

野球の素晴らしいところは、ヒットを打てばみんなで大喜びして「やったー」ってね、そういうところがいいね。バッターボックスに入ると、注目を浴びるわけです。そこで結果を出せば、本当にこー気持ちいいんだなあ。

あと他の区になくて自慢なことは、60歳以上のシニアリーグ。試合数が多いから普段試合に出られないような人にも、どんどん声をかけて出てもらって、勝敗にこだわらず楽しんでいます。

子どもの頃に野球をはじめ、そのまま大人になっても野球を続けている…そんな“野球人”が増えるよう、たくさんの人に、野球の楽しさを伝えていきたいと思っています。

理事長
つじ としゆき
辻 敏行さん

副会長
おおしま まさとし
大島 正敏さん

Point
1

区民体育大会で区内の
野球チームをまとめ
準備から運営まで実施

Point
2

かつしかスポーツフェスティ
バルで体験ブースを設け
野球の楽しさを伝える

Point
3

スポーツイベントや
キッズ野球教室を
開催



奥戸野球場のこけら落としで集合
葛飾区軟式野球連盟の皆さん

オープニングゲーム盛り上がりました!



▲区民体育大会

「キッズ・ボールパーク」では、元中日ドラゴンズの
石川駿さんが講師として指導しました。



的をぶち抜け!
ストラックアウトは大人気!

野球の楽しさを伝え75年

子どもから高齢者まで“野球人”を育てる

葛飾区
軟式野球連盟

葛飾区軟式野球連盟は、昭和23年に(一社)葛飾区体育協会に加盟してから75年。子どもから60歳以上のシニアまで、区内に約200ある野球チームを牽引し、競技力向上と競技の普及に貢献しています。

毎年春と秋に行われる「区民体育大会」では、区内の野球チームをとりまとめ、大会の事前準備から当日の運営までを行っています。

また、連盟は子どもたちに野球に興味を持ってもらうよう、(一社)野球・ソフトボール活性化委員会等と協力して、未経験者でも楽しめる親子教室「キッズ・ボールパーク」を開催。元プロ野球選手がボールの投げ方や捕り方のコツを指導し、参加した親

子は夢中になっていました。令和4年9月の奥戸野球場改修後のこけら落としでは、区選抜の軟式野球チームを結成。他区の強豪チームとオープニングゲームを行い、会場を大いに盛り上げました。さらに、「かつしかスポーツフェスティバル」では、パネルにボールを投げ、何枚打ち抜けるかを競うゲーム「ストラックアウト」を運営。これは子どもたちに大人気で、見事命中すると体育館に元気な歓声が湧きました。

今後も、子どもから大人まで楽しめるイベントや体験教室などの普及活動を通して、野球の楽しさを伝えていきます。

〈連絡先〉生涯スポーツ課
(電話) 03-3691-7111



3. 協働の活動を支える

地域の協働の活動が安定的かつ持続的に発展できるよう、それぞれの活動者が抱えている課題を把握し、活動者の特性や事業の目的・内容等を考慮しながら、必要な支援を進めます。

推進に向けた主な取組

- 各種助成・補助金事業(葛飾区地域活動団体事業費助成金 など)
- 葛飾みんなの協働サイトの運営(再掲)
- ボランティア・地域貢献活動センターでの各種相談・セミナー など
(葛飾区社会福祉協議会が実施・再掲)



問い合わせ

政策企画課(協働推進担当)

メール KYOUDOU@city.katsushika.lg.jp

電話 03-5654-8177

FAX 03-5698-1501

「葛飾らしい協働」の輪を広げていくために

葛飾区では、区と活動者との連携に限らず、さまざまな皆様、「地域社会を良くしよう」という思いを持って、お互いを理解・尊重しながら行う活動の全てを「協働」と位置付けています。こうした「地域社会を良くしよう」という思いを持って「夢と誇りあるふるさと葛飾」を実現していくことが「葛飾らしい協働」です。

区では、葛飾区基本計画に「協働推進プロジェクト」を掲げ、協働の推進に向けた環境づくりを進めています。



葛飾区基本計画「協働推進プロジェクト」の概要

1. 協働意識・郷土意識を醸成する

区の実施や地域で行われている活動など区政や地域の魅力を効果的に発信し、地域への思いを育み、協働意識を醸成しています。また、協議会、意見交換会、勉強会、交流会などのさまざまな機会を通じて、地域の課題を共有しながら、地域の魅力を高めるための活動につなげています。

推進に向けた主な取組

- 葛飾区協働映像(DVD)の制作・放映、協働事例集の発行
- 職員出前講座の実施
下町川柳コンクールの実施
- 「協働のまち葛飾」(広報かつしか)の連載
- 各種協議会・意見交換会・勉強会・交流会の開催・計画等策定への参画 など

2. 協働を広げる・深める

① 協働への「きっかけ」をつくる

地域活動に興味がある方や地域活動に有益な知識・技術を持つ方が、協働の活動をはじめめるための「きっかけ」づくりを進めています。

推進に向けた主な取組

- 葛飾みんなの協働サイトの運営
- 協働による事業の実施
(共催・実行委員会・事業協力・後援等)
- ボランティア・地域貢献活動センターの運営(葛飾区社会福祉協議会による) など

② 協働の可能性を広げる

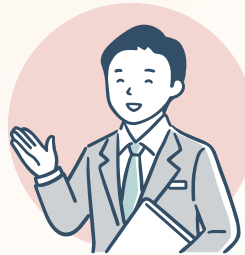
多様な主体を協働の取組につなげて、さまざまな分野で新たな取組を生み出し、協働の可能性を広げています。

③ つながりを広げる・深める

協働の活動者同士が情報共有や連携し合える環境づくりを進めてつながりを広げ、そのつながりを深めながら協働の取組を活発化させています。

申込方法

- | | |
|---------------|---|
| 1 講座を選ぶ | 講座一覧よりご希望の講座をお選びください。
※同時に2つ以上の講座の申込みも可能です。 |
| 2 講座の担当課に連絡する | 受講希望日の20日前までに、講座の担当課にご連絡ください。なお、日時調整が必要な場合がありますので受講希望日を3日程度お伝えください。 |
| 3 申込み | 受講希望日を確認後、講座の担当課へ所定の申込書をご提出ください。
オンライン申請も可能です。 |
| 4 出前講座実施 | 区職員が会場へ伺い、お話しします。 |



※この講座は、政治・宗教・営利活動を目的とした催しには利用できません。
また、区に対する陳情などをお受けする目的で行うものではありませんので、ご理解ください。

▶ オンライン版

職員出前講座の配信について



オンライン版
職員出前講座
区公式Youtube
チャンネル



時間や場所にとらわれずに受講できるオンライン版の職員出前講座を区公式YouTubeチャンネルにて配信しています。

今後、さらにオンライン講座のコンテンツを充実させ、区の実践をPRしていきます。



区公式ホームページでチェック▶

葛飾区 出前講座



葛飾区職員出前講座



「協働」を進めるためには、まず、区の実践などの情報を共有することが大切です。

職員出前講座を通じて、区職員が皆様の地域に伺い、区の実践や取組についてお話し、地域への想いや協働意識を育む取組を行っています。

対象

区内在住・在勤・在学の10名以上の団体・グループ

日時

午前9時～午後9時の2時間以内（年末年始を除く）

会場

区内のご希望の場所
(会場については、申込み団体・グループでご用意ください)

申込書配布

区ホームページ・区民事務所・地区センター・図書館など



葛飾協働まちづくり表彰

区内において、地域をより良くし、区民福祉の向上に寄与する活動に尽力されている方や団体、事業者の皆様の功績を称えて、葛飾協働まちづくり表彰を行っています。



令和3年度の表彰団体 (50音順)

<p>(福)アムネかつしか 精神保健相談や、精神障害者が社会と交流する場を提供するなど、精神障害者やその家族に寄り添った支援事業を実施</p>	<p>葛飾の川をきれいにする会 河川の定期的な水質調査や、区内小・中学校への出前講座、矢切の渡し「柴又チューリップいっぱい」事業などを実施</p>
<p>かつしか異業種交流会 異業種の企業が集まり、技術・知識の交流や経営情報の交換を通じて会員の資質の向上を図るなど、地域産業活性化事業を実施</p>	<p>こすげのわ 入園前の乳幼児の親子が気軽に集まることのできる親子交流会を実施するなど、地域の育児支援事業を実施</p>
<p>葛飾区弓道連盟 「弓道大会」の開催や、区主催のスポーツイベントに向けてボランティアを派遣するなど、スポーツ振興事業を実施</p>	<p>NPO法人SIEN 精神障害者が社会と交流する場を提供するなど、精神障害者やその家族に寄り添った事業を実施</p>
<p>葛飾区剣道連盟 「剣道大会」の開催や、区主催のスポーツイベントに向けてボランティアを派遣するなど、スポーツ振興事業を実施</p>	<p>高砂団地自治会 都の事業を活用し、高砂団地内の集会所で移動販売サービスの提供などを実施</p>
<p>葛飾区柔道連盟 「柔道大会」の開催や、区主催のスポーツイベントに向けてボランティアを派遣するなど、スポーツ振興事業を実施</p>	<p>なかよし 子ども日本語教室や日本文化体験の実施など、外国にルーツを持つ子どもの支援事業を実施</p>
<p>葛飾区水泳連盟 「ジュニア水泳大会」の開催や、区主催のスポーツイベントに向けてボランティアを派遣するなど、スポーツ振興事業を実施</p>	<p>松上小学校避難所運営組織 新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営体制の整備など、地域の防災力を向上させる事業を実施</p>
<p>葛飾区バドミントン協会 「葛飾オープン大会」の開催や、区主催のスポーツイベントに向けてボランティアを派遣するなど、スポーツ振興事業を実施</p>	<p>水元地区福祉活動運営委員会 葛飾総合高校の高校生とふれあい茶話会を実施し、多世代交流を図るなど、安心して暮らすことができる福祉のまちづくり事業を実施</p>
<p>葛飾区文化協会 「葛飾区民総合芸術祭典」や「葛飾区民文化祭」などの文化芸術事業を実施</p>	<p>未来えんじん 「ペアレントメンター活動」など、発達に課題のある子どもを持つ保護者に寄り添った支援事業を実施</p>
<p>葛飾区リハビリテーション連絡会 リハビリ専門職同志のつながりや知識の向上を図るとともに、高齢者の介護予防や健康づくり事業などを実施</p>	<p>ゆめコンサート実行委員会 かつしかシンフォニーヒルズにおいて「ゆめコンサート」を開催するなど、区内児童・生徒の豊かな感受性を育む事業を実施</p>

NPO法人かつしか市民後見センター

成年後見制度に関する相談受付や成年後見制度の普及啓発事業などを実施

▼ 区公式ホームページでも紹介しています。

葛飾区 協働表彰



葛飾区における協働事例を YouTubeやDVDでご覧いただけます

地域や事業者の皆様に協働による取組を広く知っていただくため、活動の一部を映像にまとめました。YouTubeやDVDなどで見ることができます。



令和4年度の掲載団体 (掲載順)

(公社)東京青年会議所葛飾区委員会

葛飾吹奏楽団ジュニアバンド

葛飾区の音楽を盛り上げようと
小学3年生から中学3年生が活動しています。

八剣笑(やっさぎ すまいる)サロン

脳トレのほかにも、タオルを使った体操や

NPO法人レインボーリボン

その「あおとこども食堂」を運営しているのは

区立小松中学校

雨の日でも雪の日でも

DVDは無償で
貸出ししています



貸出しを希望される方は、政策企画課(協働推進担当)までお問い合わせください。

▼ 区公式ホームページでチェック!

葛飾区 協働映像



Facebook

葛飾みんなの協働サイト

区内で地域貢献活動をしている自治町会や区民活動団体、NPO、事業者などの皆様が、活動内容やイベント、ボランティア募集などの情報をタイムリーに紹介することができる「葛飾みんなの協働サイト(以下「協働サイト」という。)]を運営しています!



f 葛飾みんなの協働サイト 葛飾区 協働サイト Facebook



協働サイトとは?



- フェイスブックのグループ機能を使い、会員同士の投稿を共有(シェア)※する場です。
- 会員は、ご自身のフェイスブックサイトにおいて投稿し、その中から、協働サイトで紹介したい記事を「シェア機能」を使って共有することで、投稿を広く周知することができます。
- 他の団体等の外部向け記事もご自身のページに表示されるようになりますので、区のさまざまな協働の団体等の活動を知ることができます。

※「シェア」とは…自分や他の人が投稿した内容を、自分以外の人(友達やその他多数)に広めること。また、「シェア」する際にコメントを入れて投稿することもできる。

協働サイトへシェアできる内容

活動紹介やイベントの開催、ボランティア募集など、基本的に団体等の活動に関するものであればシェアできます。記事をシェアして広く周知・PRしましょう!

※協働サイトへシェアできないものや禁止事項については、利用規約をご確認ください。



新規会員団体募集中!

協働サイトに登録を希望する場合は、区公式ホームページから申請書をダウンロードし、必要な書類を添えて政策企画課(協働推進担当)までご提出ください。

詳細は、区公式ホームページをご覧ください。



葛飾区 みんなの協働サイト

一般の部

特別賞
手をあげてことばいらない
かわす笑
佐藤 友夫

葛飾川柳連盟会長賞
老いた母 行方を知るは
地域の目
ともき

区長賞
アメひとつ あげてもらって
きずなます 仲村 フサ子

中学生の部

葛飾川柳連盟会長賞
和気藹々 人との距離が
あたたかい
今井 愛美紗

教育長賞
笑顔咲く ぬくもりの町
葛飾区
遠藤 愛美

区長賞
どうしたの かけてあげたい
その言葉
平田 慧

小学生の部

葛飾川柳連盟会長賞
下町の 世界のおもちや
笑顔生む
鈴木 蓮

教育長賞
言葉はね 人の心を
あたためる
川北 陽葵

区長賞
両さんに マスクをつける
思いやり
中山 芽依

第5回
令和
3年度

テーマ
人情

コン
ク
ール

下
町
川
柳

協働のまち葛飾

みんなが「ことば」の力で、つながり、助け合い、葛飾愛を深めていく! そうした思いを込めて、川柳コンクールを行っています。葛飾の魅力が詰まった作品を紹介します!

第5回協働のまち葛飾川柳コンクール表彰式



お知らせ

- 第6回(令和4年度)は、「葛飾愛」をテーマに実施しました。
- 第7回(令和5年度)の応募に関する情報は、令和5年夏ごろ公表予定です。

令和4年度の入賞・入選作品や過去の入賞作品につきましては、区公式ホームページをご覧ください。



葛飾区 協働川柳

● 実地研修の内容 (令和4年度)



ふるさと葛飾盆まつり2022

事前ガイダンスでふるさと葛飾盆まつりの趣旨や内容を理解し、盆まつり当日の運営スタッフとして参加しました。練り歩き参加者の受付やプラカード対応、送迎バス対応など、さまざまな場所で従事しました。

活動団体 葛飾区自治町会連合会



機械要素技術展

事前の企業訪問で担当企業の商品や技術について学ぶとともに、商品や技術に対する思いを深めた上で、当日は葛飾区ブースに来訪されたお客様に対して担当企業のPRをし、簡単な質疑応答を行いました。

活動団体 区内出展企業13社



花いっぱいのもちづくり

事前ガイダンスで花いっぱいのもちづくりについて理解を深めた上で、フィールドワークや学校の花壇活動(花の植え替えなど)を行いました。作業終了後、活動者と意見交換を行いました。

活動団体 松南の森プロジェクト



エンジョイスports2022総合開会式

事前ガイダンスで区のスポーツ事業について理解を深めた上で、各スポーツ連盟・協会の方と一緒に、エンジョイスports2022総合開会式及び各スポーツ教室の当日運営を行いました。

活動団体 (一社)葛飾区体育協会



～測って知ろう～体カテスト

事前ガイダンスで区のスポーツ行政について理解を深めた上で、測定会に従事し、スポーツ推進委員と一緒に測定補助を行うとともに、研修生自身も自ら体力測定を行いました。

活動団体 葛飾区スポーツ推進委員協議会



採用2年目職員の

協働研修をご紹介します!

目的

葛飾区では、新人から管理監督者までの職員を対象に、協働意識の醸成を図る研修を実施しています。特に、採用2年目の職員は実地研修を通じて、協働についての学びを深めています。これは、区内の団体や企業などが活動する環境に赴き、活動されている皆様と同じ作業を行い一緒に汗を流すことで、皆様がどのような思いを持って活動に携わっているのかを肌で感じ、その体験を今後の仕事にどう生かしていくかを考えていくものです。



採用2年目

内容

① 導入研修

協働について理解を深め、本研修の目的や学習テーマを明らかにする。



② 実地研修

(区内活動団体などへの派遣)

団体などが活動する環境に赴いて区民の声を直接聞くことで、協働のパートナーに対する理解と知識を深めるとともに、区の現状と課題を知る。

③ 振り返り研修

これまでに学習したことを自らの仕事の中で生かすため、個々の体験や学びを共有するとともに、体験の成果を明らかにし、協働に対する意識をさらに高めていく。

研修生の感想

区民と一緒に活動することで、「協働」の意義を知ることができました。

区民の方と共に協力しながら事業を進めていくことの大切さを学ぶことができました。

問い合わせ

人材育成課

電話 03-5698-2611

メール 031600@city.katsushika.lg.jp

FAX 03-5698-2613

災害ボランティア活動支援体制づくり 災害ボランティア活動支援



葛飾区社会福祉協議会は、区と締結している「災害時におけるボランティア活動に関する協定」に基づき、区内で大規模災害が発生した場合に、災害ボランティアの活動拠点となる災害ボランティアセンターを設置します。そのため、日頃から、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練や各種講座などを通じて、災害時対策や災害ボランティア活動支援を行っています。

- 災害ボランティア講座
- 災害ボランティア体験講座
- 災害ボランティアセンター設置・運営訓練（災害時に必要となるボランティア活動などを体験）
- 災害ボランティア登録制度
- 普及啓発活動
- 災害支援三者交流会（ボランティア団体やNPO法人、関係機関との連携体制づくりなど）



福祉・ボランティア出前講座



地域や学校へ講師を派遣し、車いす体験や手話など、さまざまな講座を開催して、福祉やボランティアに関する普及啓発を行っています。

その他の事業

- ボランティア講座
- ボランティア相談
- 福祉教育推進活動
- ハンディキャブ運行事業

詳細は [ホームページ](#) をご覧ください。



葛飾 社協 ボランティア

社会福祉法人 葛飾区社会福祉協議会 かつしかボランティア・地域貢献活動センター

開設日時 月曜日～金曜日・第1・3土曜日
午前8時30分から午後5時まで
(第2・4・5土曜日・日曜日/祝日・年末年始を除く)

場所 東京都葛飾区堀切3-34-1
ウェルピアかつしか 1階

問い合わせ

電話 03-5698-2511

FAX 03-5698-2513

メール vc@katsushika-shakyo.com

ボランティアやNPO活動についての相談窓口 /

ボランティア・地域貢献活動センター

「ボランティア・地域貢献活動センター」は、ボランティア活動をしたい方と、ボランティアを必要とする方をつないでボランティア活動の輪を広げます。また、ボランティア団体やNPO法人などを支援するとともに、葛飾区内の地域貢献活動の活性化を図るために講座や交流会なども開催しています。



区内のさまざまなボランティア活動を紹介！ボランティアまつり



ボランティア団体やNPO法人などの紹介や活動をPRするため、年1回、秋に実地しています。参加団体には「他の団体との交流」、来場者には「ボランティア活動について知ってもらい、活動に参加するきっかけ」の場となっています。



令和4年度は感染症対策のため会場規模を縮小して、バザーや手話・点字・災害・防災に関する体験教室などを開催。また、オンライン上で吹奏楽の演奏や区内の団体を紹介する動画配信を行いました。まつり終了後もホームページに動画を掲載し、参加できなかった方にも楽しんでもらいました。

「はじめたい、継続したい」を支援！地域貢献活動サポート事業

職員や専門家による相談事業

一般相談・出張相談

活動方法、団体の結成や運営、NPO法人の設立などの相談

専門家による相談

団体を運営する上で必要な税務、会計など、専門的な相談（予約制）



ボランティア・NPO入門講座

（かつしか区民大学 単位認定講座）

地域貢献活動をこれから始めたい方、基礎的な知識を学びたい方向けの講座

協働関係の構築

個人や団体、各関係機関との連携及び協働関係構築のサポート

交流会(年4回)

法律や税務などの他、子ども食堂など関心の高いことをテーマにして開催

コラボかつしかまつり

※令和4年度はボランティアまつりと同時開催

情報の収集と発信

情報誌「かつしかゴト。」の発行、メルマガやSNSの発信